

視覚機能で競技パフォーマンスが変わる！？ 気軽に VR でスポーツビジョン測定

ICHIKAWA, Tomoyuki

市川 智之



キーワード

バレーボール / コーチング / スポーツビジョン / 技術・戦術

分野等

保健体育

email

Tomo5532[at]nagaoka-ct.ac.jp

※ [at] を @ に変えてください

研究分野

ヒトがスポーツ活動を行う際、あらゆる感覚器から情報を取得し、認知した結果から行動選択を行っている。その中でも最も多くの情報を取得しているのが視覚と言われており、近年スポーツ指導の現場では、視覚能力を高めるスポーツビジョントレーニングに注目が集まっている。

シャッターゴーグルを用いたスポーツビジョントレーニングが競技パフォーマンスに与える影響について調べています。

興味のあること・技術 PR

スポーツビジョントレーニングは近年普及してきていますが、その評価方法が未だ限られた手法で行われています。多くの人が気軽に視覚機能の評価する仕組みの検討・開発を今後行っていく予定です。

特別設備

- ・シャッターゴーグルVisionup (図1)
- ・バレーボールマシンNV100 (図2)

企業へ向けて

スポーツに関連した視覚の研究を今後進めていく予定です。

つながりたい分野(産業界、自治体等)

視覚機能に関連する分野の企業等との連携を期待しています。

職名

助教

学位

修士
(スポーツ科学)



図1 シャッターゴーグル



図2 バレーボールマシン